

その他の活動

コミュニティ支援プロジェクト

→4月22・23日：大船渡でネパール交流会開催

ユースリーダーシッププロジェクト

→6月3・4日：神戸でTOMODACHI アラムナイトレーニング開催

熊本震災支援

→6月13日東町小学校でセルフケアのためのヨガワークショップ開催

最新活動は JISP facebook ページ (<https://www.facebook.com/jisp.from.tohoku/>) で配信中です。ぜひ、「いいね!」をお願いします。

Information

★ アカウンタビリティセルフチェック2012を実施しました

JISPは、アカウンタビリティの向上に努めています。

これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」マークで、JANICのアカウンタビリティ基準の4分野(組織運営・事業実施・会計・情報公開)について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

JISPは多くの関係者の方々のサポートにより活動を継続しています。活動の支援者や受益者も多く、ステークホルダーによる団体の信頼性をより高められるよう、透明性の高いアカウンタビリティをより一層意識した、適切な組織・事業運営に取り組んで参ります。



★ ソフトバンクがざして募金からご寄付いただけるようになりました



がざして募金

ソフトバンクが提供する「がざして募金」より、ご寄付いただけるようになりました! スマホやPCから簡単に寄付ができ、携帯電話の利用料金の支払いと一緒に100円よりご寄付いただけます。皆さまのご支援とご協力、よろしくお願いたします。



▲ QRコード: softbankのスマホをお持ちの方はこちら



▲ QRコード: どなたでもクレジットカードで寄付

★ 専門家ボランティア登録受付中です



JISPは、私たちと共に支援活動をしてくださる専門家ボランティアの登録を開始しました。

医療、心理、防災、教育などの分野で何らかの専門性をお持ちで、それを支援に活用したいとお考えの方。また、国内外支援で活用できそうな専門性をお持ちの方からの応募をお待ちしております。ウェブサイト (<http://jisp.org/professional-volunteer-registration/>) より受け付けております。

◀ネパール震災支援でボランティアして下さった防災看護師の菅原千賀子さんと子供たち

ご支援(寄付)のお願い

当団体の理念やプロジェクトにご賛同いただける方からのご支援(寄付)をお待ちしております。ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。(http://jisp.org/donate/)



一般社団法人 JISP (日本イスラエイド・サポート・プログラム) は、宗教や政治、人種にとらわれず人道主義に基づいて活動する人道支援団体です。

JISP は、Facebook、Twitter、Instagram で活動を発信しています。

お問い合わせ

宮城県仙台市青葉区花京院2丁目2-68 高橋ビル401
Tel: 022-722-8825
Fax: 022-722-8825
Email: contact@jisp.org
Web: <http://jisp.org>



災害からの心の回復と成長をサポート

NEWS LETTER

Jul 2017

Vol. 05

熊本震災支援

熊本被災地のいま

★ JISP臨床心理専門家岡田太陽氏による熊本視察レポート

2016年に起きた熊本地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

JISPは、今後も継続して現地のニーズに合った支援を行うため、熊本県御船町内で最も被害が大きかった地域と、4か所の仮設住宅の視察を行いました。

今回は支援者会議に顔を出して、JISPの活動について紹介すると同時に、事前の現地視察をもとに実際にどのような支援活動ができるのかを計画立案することを目的として一路熊本に向かいました。

熊本地震からはや1年。

まだまだ日々の生活の問題が大きい感じで、心の支援はこれからかなーという印象を感じつつも、痛みや不眠を訴える方は結構おられるようでした。「仮設では寝られない。早く家に帰りたいけれども家は住める状態じゃない」とおっしゃられる方もおられました。今回の訪問で話を聞いて1番強く感じたのは、支援者が疲弊していること。東北支援でも感じていたことですので、改めてやはりと言う感じではありましたが。支援をしている人達もまた被災者です。自身も生活の問題を抱えつつも地域の方々の為に奔走されておられる支援者の方々が、既に心身ともに限界がきているようで、入院するような病に罹患されておられたり、風邪が治らないとか、眩暈が治らないといったような様々な身体症状を抱えておられる様子がうかがわれました。

「家族の為に時間を使いたいんだけど、地域の人達の生活をついつい優先してしまっている。そのため、家族には負担をかけていると思う。家族は理解してくれているけれども・・・」「あちこち動いている方が楽。家に帰ってホッと座ると、考えなくていいことをいっばい考えてしまう」というような話もうかがいました。

御船町ではないようですが、支援者が自殺したという話もうかがいました。

また、仮設の生活については、コミュニティの問題もあり、同じ地域から集まっている仮設はまだいいが、バラバラの地域から集まっている仮設は本当に大変だと管理されている人がおっしゃっておられました。仮設の代表の方のお話をうかがうと皆口をそろえて、コミュニティの活性化、仮設の住人のつながりを持てるようにしたいとおっしゃっておられました。

東北で聴いた声が、ここ熊本でも。

住人の声に耳を傾けつつ、土地に合った支援ができるように活動をしていきたいと思えます。



▲熊本音楽復興支援100人委員会で活動されておられる芥川さんと、御船町の民生委員をされている佐藤さんのご協力を経て視察を行いました。



▲様々な地域から集まった方が居住する仮設住宅では、コミュニティの課題が

ユースリーダーシップ・プロジェクト

被災した若者が未来に夢や希望を抱き、実際に社会に出てから活躍できるよう、次世代のリーダーを育成するプロジェクト

東北とネパールユースの国際交流! Youth Leadership Project 2016実施!



2016年12月24日-29日の6日間、復興・社会に貢献できるリーダー育成を目的とし、被災体験をした東北とネパールの高校生10人が東北で、体験の共有による相互理解と復興への歩みについて学び合う宿泊型のトレーニングプログラム開催しました。

◀文化や言葉の壁を越え、東北とネパールに強い絆が生まれました!

=== プログラム概要 ===

- Day1(石巻):キックオフ&ウエルカムパーティー
- Day2(石巻):心のケア学習(1)PFAトレーニング
- Day3(石巻):心のケア学習(2)防災トレーニング
- Day4 :復興への歩みツアー(1)
(石巻・女川)東北で活動中の学生との交流と講演
カタリバ女川向学館
- Day5 :復興への歩みツアー(2)
(気仙沼) ゲストハウス架け橋、ホテル望洋
唐桑半島ビジターセンター・津波体験館
- Day6(仙台):学びの共有、発表イベント

🍎 プログラムを終えた参加者の声

「今回のプログラムでの自分の成長は想像以上で、多くの収穫を得ることが出来ました。」

高橋乃愛さん(宮城県在住・16歳)

プログラム参加前は、国際交流をすることと少しでも積極性を身につけられたらいいと思っていました。しかし、今回のプログラムでの自分の成長は想像以上で、多くの収穫を得ることが出来ました。特に大きかったと思うことは、「想像のふくらまし方」を学べたことです。この様なことは学校では滅多に学ぶことが出来ないと思

います。こういう機会を貰え、本当に良かったです。また、震災ということについて今まで自分になかった知識を得られたり、改めて考え直すことができるきっかけを貰えたのも、このプログラムがあったからこそだと思います。知識的なこと以外でも、ネパールの高校生と接することでコミュニケーションの取り方や、英語についてもより関心を強めることが出来ました。本当にこのプログラムは自分に取ってプラスになることばかりでした。このような機会をいただき、感謝しています。

「今まで震災のことや国際交流に興味がありませんでしたが、プログラムに参加して自分の地域やできることを考えるようになりました。」

木村有希さん(宮城県在住・15歳)

私はプログラム中のゴールとして新しく学んだことや得たことをたくさんの人に伝えたと設定しました。しかし自分の地域に足りないことやPFAを学んだことによって引きこもりや震災で心にダメージを受けた子どもの心のケアをするという目標が変わりました。自分たちの目に見える復興は進んできていると感じていますが、目には見えない心のケアはまだ進んでいないと思います。不安定な心の子どもたちが大人になった時いろいろな問題が出てくる前に、今だからできる何かを見つけて、心の不安なくのびのび暮らせるお手伝いをしたいと、プログラムを通じて感じる事が出来ました。

🍎 JISPの活動は皆様からの支援によって前に進むことができます

振込先(ゆうちょ銀行)

口座名:一般社団法人 日本イスラエイド・サポート・プログラム

ゆうちょ銀行から

ゆうちょ銀行以外の銀行から

記号 **10170** 番号 **37135201** 普通預金 店番号 **018** 口座番号 **3713520**

※お振込みいただいた後、裏面のお問い合わせ電話番号にご連絡いただけますようお願い致します。

熊本震災支援特集

ストレスリリーフ支援

小学校の子どもたち・先生・保護者を対象に、地震の影響によるストレス緩和を目的とした活動ヨガやアートアクティビティの提供

川尻小学校と東町小学校の 子供たちにワークショップを開催!

6月13・14日に川尻小学校と東町小学校で、JISP提携専門家の西海石みかさ氏こと「みかさっち」によるコミュニケーション・ゲームWSを開催しました。お手玉、毛糸、布などのシンプルなツールを使い、音楽に合わせて体を動かしたり、それぞれ参加者が想像力を使ってコミュニケーションを深められる内容でした。また、先生方にアクティビティの意味や効果も説明し、先生方自らがそれを実施できるように促進しました。

先生から「普段見たことのない子どもたちの表情を見て驚き」とのコメントをいただきました。西海石みかさ氏は、東北で実施したJISPのトレーニングの受講者でもあり、今回はその時に学んだツールを使ってWSをしてくださいました。



▲音楽に合わせて体を動かし、ストレスリリーフ



▲JISPのトレーニングでイスラエルのダンスムーブメントセラピストから学んだツールを使って

在住外国人支援

熊本市国際交流会館との協力のもと、外国人コミュニティに対する災害対応や心のケアワークショップ、研修を実施

専門家によるコミュニティー災害 リーダーシップ研修が始まりました

JISPは、外国人居住者向け「コミュニティー災害リーダーシップ研修」を通じて、災害時・災害後におけるリーダーシップや災害対応、心のケアについて学んでいただき、外国人居住者同士、そしてコミュニティの住民同士がサポートしあうためのネットワークを強化することを目指しています。

6月11日(日)に熊本県国際交流会館で「コミュニティー災害リーダーシップ研修」の初回研修「災害とリーダーシップ」を実施しました。参加者は、ミャンマー、パプア・ニューギニア、インドネシア、マレーシア、フィリピンなど国際色も豊か。地域防災専門家の市居嗣之氏を講師に迎え、災害時の避難所の設計など、参加者の間で熱心な議論が飛び交いました。参加者からは「色々な方々の状況を具体的に考えて避難所のレイアウトを考えることで、新たな視野が開けました」「時間が足りない」など嬉しい声も。次回は災害時の心のケアについて研修を行う予定です。



▲国際色豊かな参加者のみなさん



▲熱心な参加者から質問を受ける市居嗣之氏